



# 家畜ふん尿処理施設の事故を防ぐために



**⚠ 家畜ふん尿処理施設に不用意に立ち入る事は非常に危険です ⚠**

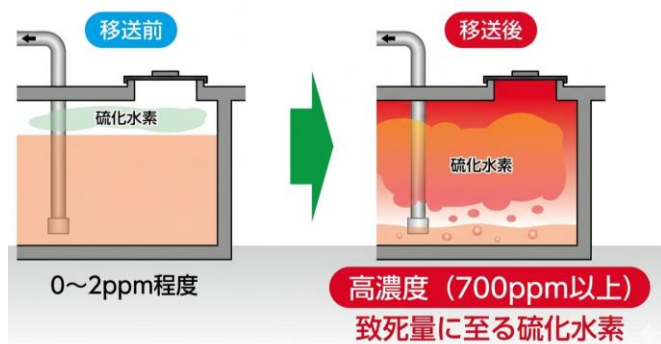
## ○危険性の認識

密閉式の家畜排せつ物処理施設（尿ためやスラリー等の貯留槽）では、酸素欠乏空気や硫化水素等の有毒ガスが滞留している場合があります、不用意に立ち入ると酸素欠乏症や硫化水素中毒により、死に至る重大事故につながるおそれがあります。

また、施設内には高濃度のアンモニアやメタンガス等の可燃性ガスが発生・滞留する場合があります、健康被害や爆発事故の危険性もあります。特に、尿やスラリーのばっ気・かく拌・移送時には、有毒ガスや可燃性ガスが一時的に高濃度となることがあります。

さらに、貯留槽の開口部付近においても危険性があることから、施設管理者および利用者は、施設利用に伴う危険性を十分に認識し、適切な安全対策を講じることが重要です。

### スラリー移送前後の槽内硫化水素濃度の変化



### 硫化水素濃度と人体にかかわる症状

| 濃度     | 症状等             |
|--------|-----------------|
| 700ppm | 呼吸麻痺、昏倒、呼吸停止、死亡 |
| 350ppm | 生命の危機           |
| 20ppm  | 気管支炎、肺炎、肺腫瘍     |
| 10ppm  | 許容濃度（目の粘膜刺激の下限） |
| 5ppm程度 | 不快臭             |

参考：なくそう！酸素欠乏症・硫化水素中毒（厚生労働省：2002）

**⚠ 家畜ふん尿処理施設での事故防止に向けた安全対策 ⚠**

## ○立ち入り・進入禁止措置の徹底

危険箇所への立ち入りを防止するため、警告看板を設置、ロープ張りにより、関係者以外立ち入り禁止区域を明確に設定し、外来者や家族（子供）の立ち入りを禁止してください。

また、貯留槽の開口部については、転落事故などの防止のため、上蓋や進入防止柵を適切に設置してください。

## ○貯留槽内への進入禁止

貯留槽内は極めて危険なため、絶対に立ち入らないでください。

点検・作業等によりやむを得ず進入が必要な場合、必ず酸素欠乏症・硫化水素危険作業主任者の有資格者が所属する専門業者に依頼してください。

## ○建屋内での換気対策

貯留槽が建屋などで囲われている場合は、換気設備（ドアや窓、シャッター等）の開放等による十分な換気を実施してください。

## ○施設周辺での火気厳禁

貯留槽内及びその周辺では、可燃性ガスへの引火、爆発の恐れがあるため、火気の使用は厳禁としてください。

